UNISAS/UNISON合同イベント 2011 活動報告

2011年度UNISAS代表

永峰健太　倉原直美　小林雄太　遊佐淳也

UNISASについて

- UNISONのOB/OG組織
- 2006年発足
- 参加者64名(2010年度現在)

＜UNISASの目的＞

①学生時代切磋琢磨した同士、卒業後も積極的に親交、交流を深めること

②UNISECへの貢献、現役学生へのサポート

③他業種にわたるUNISASメンバーの交流から、新たな可能性を生み出すこと

UNISAS/UNISON合同イベント

参加者98名

(UNISON88名、UNISAS10)

■ぶっちゃけトーク　(1時間)

UNISONからUNISASへのなんでも質問会

■パネルディスカッション　(議論45分、発表30分)

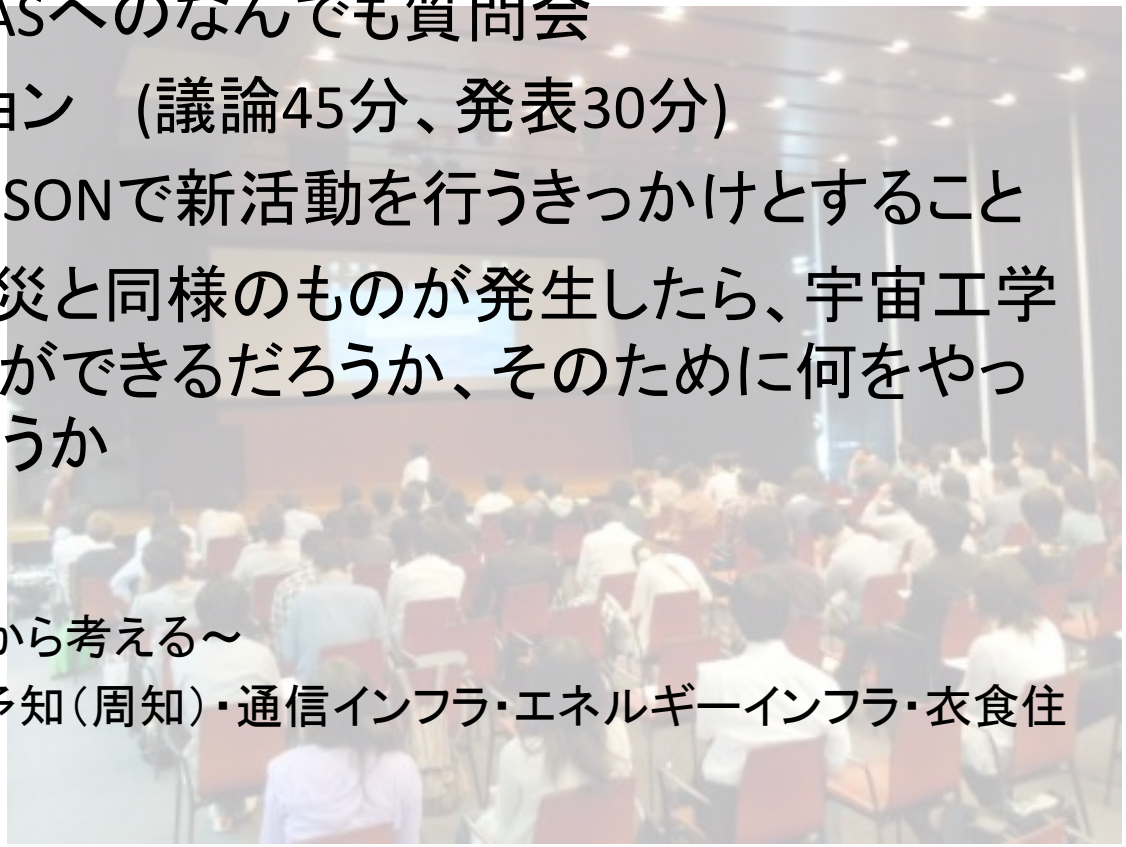
目的：UNISAS/UNISONで新活動を行うきっかけとすること

テーマ：今回の震災と同様のものが発生したら、宇宙工学がどのような貢献ができるだろうか、そのために何をやっておけばいいだろうか

サブテーマ：

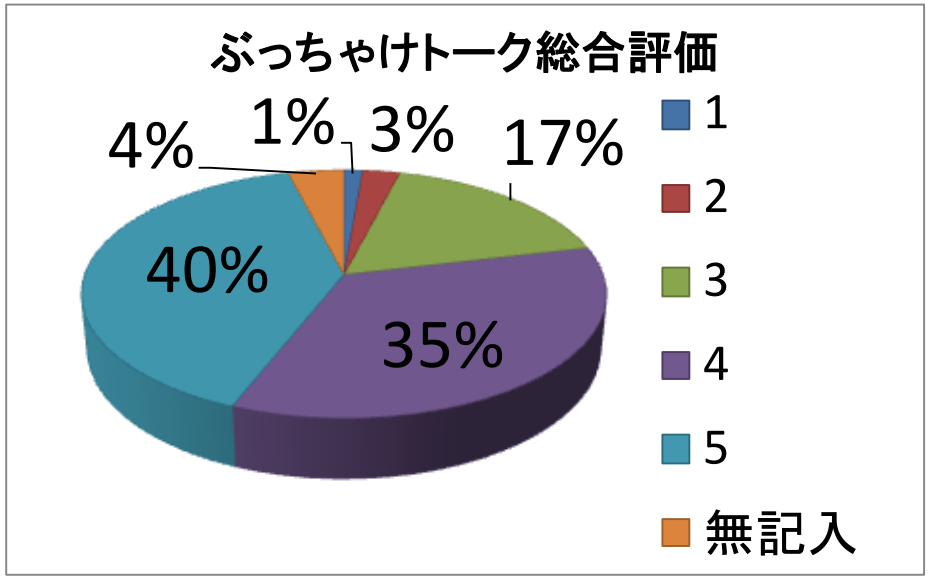
～ニーズ（困ったこと）から考える～

原発関連・防犯・災害予知（周知）・通信インフラ・エネルギーインフラ・衣食住

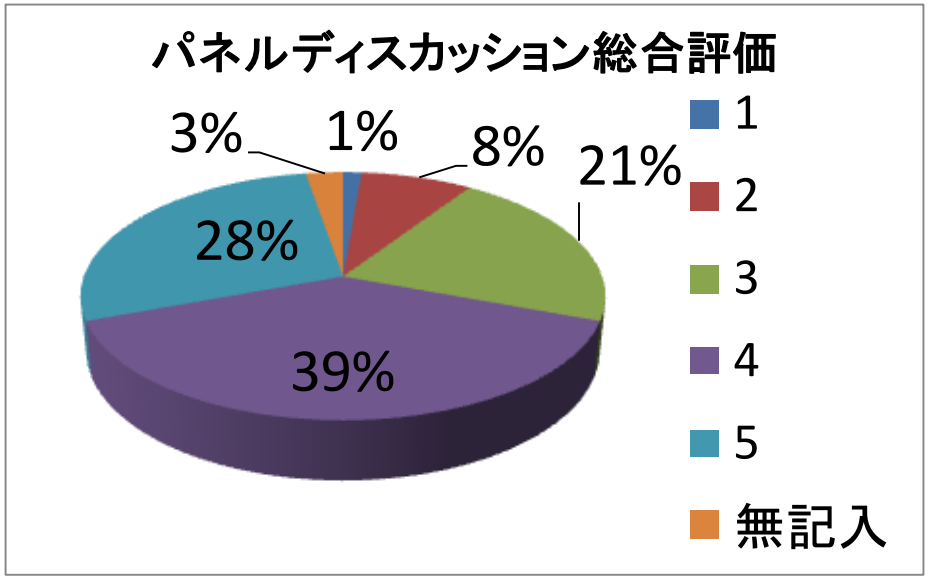


■懇親会　(2時間)

アンケート結果



平均3.97点



平均3.76点

来年に向けて

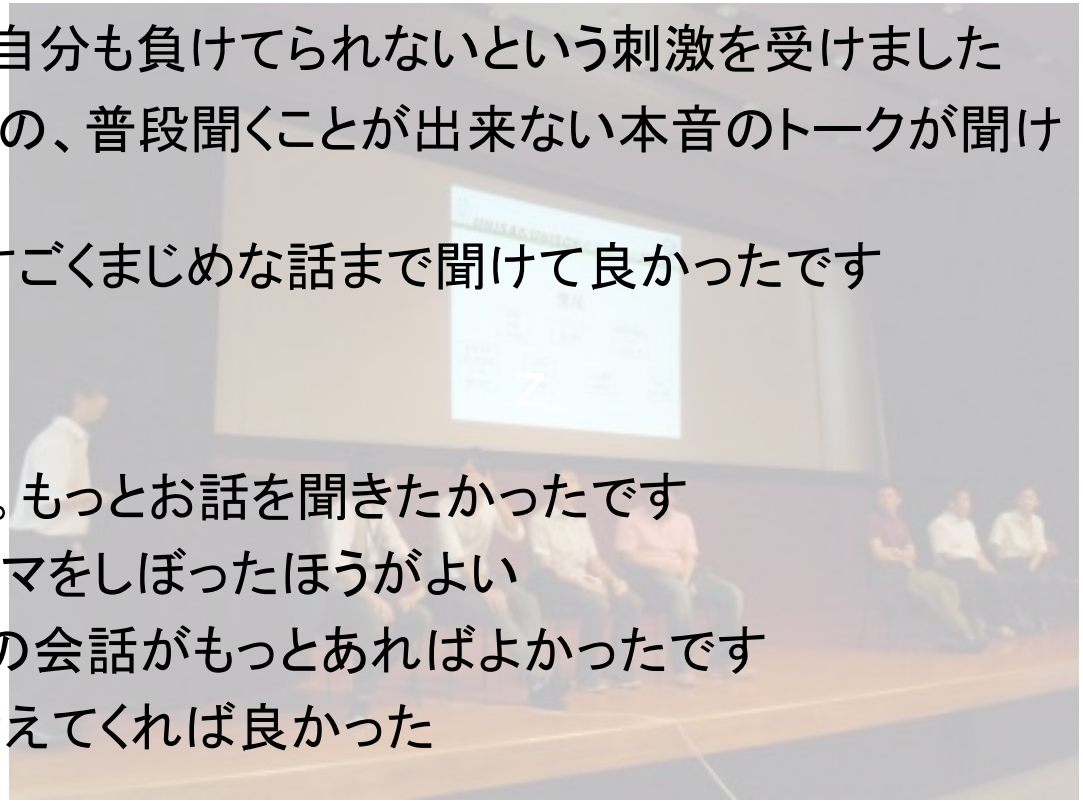
＜ぶっちゃけトーク＞

■よかった点

- 裏話をたくさん聞けました。自分も負けてられないという刺激を受けました
- 宇宙開発の第一線で働く人の、普段聞くことが出来ない本音のトークが聞けて良かった
- 笑いの起きるような話からすごくまじめな話まで聞けて良かったです

■悪かった点

- 時間が短かったと思います。もっとお話を聞きたかったです
- 時間の制約があるのでテーマをしぼったほうがよい
- UNISON-UNISASメンバー間の会話がもっとあればよかったです
- もっとぶっちゃけた質問を考えてくれば良かった
- 学生の質問が少ない

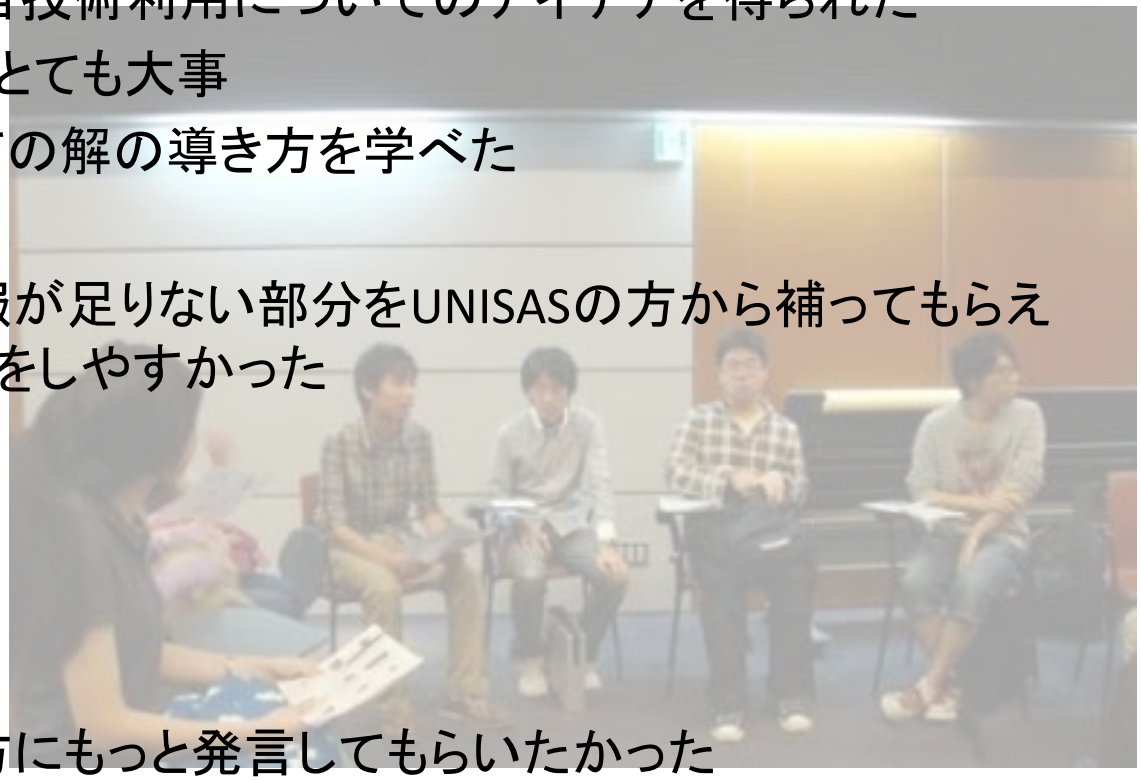


来年に向けて

＜パネルディスカッション＞

■よかった点

- 身近で学生も貢献できる技術のアイデアを交換できた
- 発表では色々な視点から宇宙技術利用についてのアイデアを得られた
- 短時間で考えるという機会はとても大事
- 討論の流れやテーマに対しての解の導き方を学べた
- テーマは難しいが楽しかった
- 学生だけの話し合いでは情報が足りない部分をUNISASの方から補ってもらえたので、具体多岐な話し合いをしやすかった



■悪かった点

- 時間がきびしかった
- テーマが難しかった
- 交流的な意味で、UNISASの方にもっと発言してもらいたかった

切磋琢磨！！